



横手市

社協だより

No.7 2007.6.15

発行:横手市社会福祉協議会

〒013-0022 横手市四日町3番23号

TEL 0182-36-5377 FAX 0182-36-5388

E-mail shakyou5@agate.plala.or.jp



大好評!!!

生きがい活動支援通所事業

今年4月から山内福祉センターでは、横手市から委託を受け実施している高齢者生きがい活動支援通所事業を「ほっとパレスゆうらく館」で毎週火曜日から土曜日まで5日間実施しています。

現在130名の登録者がおり、4月は延べ381名の方が利用し、大変喜ばれています。

温泉の入浴を売り物に、健康チェック、レクリエーション、創作・趣味活動等、様々な内容を予定しておりますので是非ご利用下さい。(同様に横手、増田、十文字福祉センターでも実施しております。)

■利用者の声■

- ・ 前の日から迎えがくるのを楽しみにしています。(女性)
- ・ 血圧を測ってもらい、看護師さんと話をすると安心します。(女性)





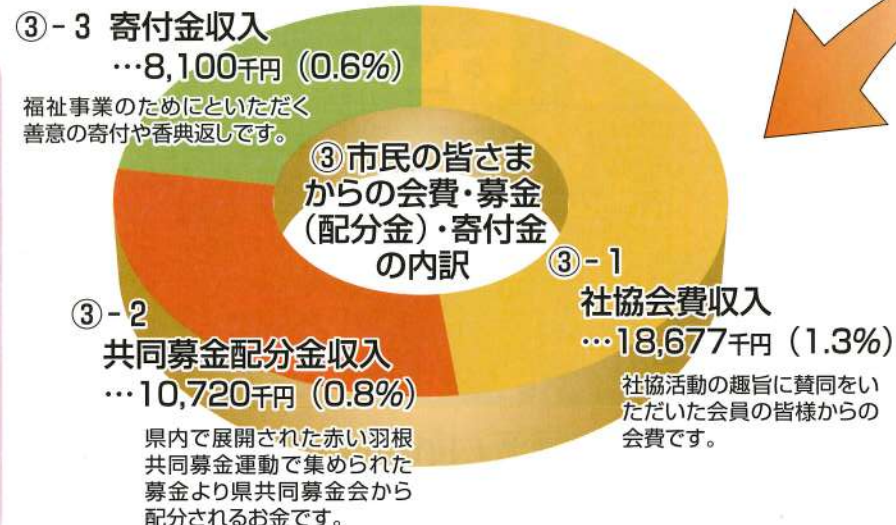
社協の収入源ってどうなってるの？
社協会費は、共同募金は、寄付金は
何に使われているの？

……このような質問が
よく寄せられますので、ご説明いたします。

皆さまからの善意

・社協会費・
・共同募金配分金・
・善意の寄付・

は、
すべて地域の**福祉活動**や
事業に使われます。



平成19年度 横手市社協の財源と使い道

13億8,466万円

③会費・共同募金配分金・寄付金収入
……37,497千円 (2.7%)

②補助金・受託金収入
……253,727千円 (18.3%)
委託された福祉事業を実施するため
に市や県から支払われるお金です。

④地域福祉・在宅福祉
サービス利用料等収入
……19,329千円 (1.4%)

⑤その他…5,699千円 (0.4%)

財源の内訳

①介護保険・障害者自立支援費収入
……1,068,417千円 (77.2%)

訪問介護、訪問入浴介護、居宅介護支援、通所介護、特別養護老人ホーム平寿苑の施設入所・短期入所生活介護・軽費老人ホーム、介護認定調査、障害者自立支援による居宅介護等の事業収入です。



いきいきサロン事業

地域の会館等で高齢者と地域の人
たちが協働で実施する交流と生きが
いづくり（市内96カ所予定）を支
援し、運営費を助成します。

福祉協力員事業

市内15カ所の福祉協力員会の活動

相談所開設事業

市民からの困りごとや専門相談に
対応するため、心配ごと相談所及び
無料法律相談所を開設します。
法律相談（相談員／弁護士）の利
用については、あらかじめ予約が必
要となります。（最寄りの福祉センタ
ーに問い合わせ下さい。）

を支援し、活動費を助成します。

平成19年度 社協会費のお願い

～誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくりを目指して～

社会福祉協議会は、住民が主体となって社会福祉の充実を図り「住みよい
福祉のまちづくり」を進めていく民間の福祉団体です。
社会福祉協議会が行う地域福祉事業は、皆様からの会費で大きく支えられ
ています。

会費は、単に事業費や活動費のためだけではなく、会費を納めることによ
り地域の社会福祉活動に参加するという意味合いも持っています。
社会貢献活動に参加したくても、さまざまな理由により参加できない方も
たくさんいらっしゃると思いますが、そうした皆様も社会福祉協議会の会員
として、地域の福祉活動を支え、また参加することと同じ意味を持っている
のです。

7月1日～9月末日まで、あなたの地域の福祉協力員さんが直接住民
の皆様に参加をお願いすることになります。
何とぞ、「社協」活動の趣旨にご賛同いただき、ご協力賜りますようお願い
申し上げます。

●会費の種類と金額

一般会費	年額	700円（世帯を対象）
賛助会費	年額一口	1,000円（世帯を対象）
特別会費	年額一口	2,000円（企業や団体を対象）

◆長寿くつろぎの旅
65歳以上の高齢者の方々の交流
を深め、生活にうるおいをもつて
いただくため1泊2日の旅行を実
施します。

各種福祉事業

社会福祉に貢献された方々の顕彰
と市民の福祉意識を高め、社協活動
への理解と参加を促進するため開催
します。

社会福祉大会

地域のさまざまな福祉課題を明
らかにし、その解決に向けた取り
組みを住民主体の行動計画として
策定します。

地域福祉活動計画策定

市民の福祉活動への参加や社協活
動への理解を深めていただくため、
年4回発行、市内全戸に配布します。

広報発行事業

ボランティアの拡大、活動の強化
と活性化を目的に、講習会等の実施
や、活動連絡調整・紹介・幹事等
を行います。

ボランティアセンター事業

◆ひとり暮らし高齢者の集い事業

ひとり暮らしの高齢者の交流と親
睦を図り、ふれあいのある生活を支
援するため研修旅行と昼食会を実施
します。

◆ネットワーク事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者の
みの世帯などで、日常生活に支援が
必要な方への福祉ネットワーク活動
の推進を図ります。

◆世代間交流事業

子供たちと高齢者のふれあいの場を提
供し、相互の交流を図るため今年度は
「交流ボウリング大会」を開催します。

その他の福祉事業

介護用具整備貸与事業、地域福祉
啓発事業、一泊ホームステイ事業、
十文字健康福祉センターまつり、大
雄花植え事業、大森地域支え合い事
業、除雪ボランティア事業、十文字
ふれあい館管理運営事業、これらの
事業を展開するための諸経費など。

福祉団体補助事業

老人クラブ、身体障害者協会、遺
族会、手をつなぐ育成会、ボランテ
ィア団体等への活動支援と自立に向け
た援助を行います。



大雄地区 「阿気小学校から車椅子の寄贈」

阿気小学校では、児童会の環境委員会が中心となって“ブルタブ回収”運動を行っており、今回は、6年間で集めたブルタブを換金し購入した車椅子1台が寄贈されました。

3月7日に小学校で行われた贈呈式では、リサイクルや車椅子の勉強会も行われ、本会佐々木会長も出席し、「皆さんから寄贈された車椅子は、地域の身体の不自由な方の支援のために大事に使わせてもらいます」と児童や先生方に感謝の言葉を述べました。



贈呈の様子



学習発表する子どもたち



十文字地区

「ミニデイサービス(高齢者生きがい活動支援通所事業)」平成19年度開所式

横手市からの委託事業として実施している「生きがい活動支援通所事業(ミニデイサービス)」の平成19年度開所式が十文字で開催されました。十文字では2カ所で開催されており、4月10日(火)に幸福会館、4月11日(水)は創作館で開所式が開催され、多数の利用者が参加しました。式では十文字地域局福祉保健課長、十文字福祉センター長のあいさつをはじめ、利用に関する説明、職員紹介などが行われました。ミニデイサービスには例年多数の高齢者が参加し、趣味活動や野外活動、季節の行事などを通して自身の生きがい・健康づくりを行っています。今年度も盛りだくさんの内容を予定しておりますので、是非ご参加下さい。



幸福会館

創作館



平鹿地区

「樋ノ口いきいきサロン」区長が講話



樋ノ口会館にて

4月27日(金) 樋ノ口会館 和室

【日程】 午前 血圧測定・地区のお話
午後 平鹿町区長 柿崎洋悦氏のお話
「消え行く民間信仰」

～人・地域(集落)を守り続けてきた石塔等～

※樋ノ口地区の石塔・石像についてのお話

- ・石塔・石像の謂われやどのように信仰したかなど資料を基に詳しく説明していただきました。
- ・参加者の皆さんは区長さんのユニークな語り口と、地区にある慣れ親しんだ石塔や石像の話に耳を傾け聞き入っておりました。

それぞれの生き方に感動 ふれあいフェスティバル開催される

特別講演

「困難を乗り越え強く生きる」

濱宮 郷 詞さん



市内の障害者団体などでつくる実行委員会の主催で、障害者への理解を深め、垣根のない社会を構築しようと「横手市ふれあいフェスティバル」が、平成19年3月24日(土)かまくら館で開催されました。

濱宮郷詞さんが「困難を乗り越え強く生きる」と題して力強く講演。「私はトイレもお風呂も自分ではできません。それでも一生懸命生きています。ボロボロになっても前に向かって進んでいきます。その姿を胸を張って自分の子供に見せたい。」と……。

参加者の声

- 発表を聞いて、自分は障害者に対する気配りにかけていた事に気づきました。大変勉強になりました。
- 自分たちがなにげなく過ごしている事柄が、体に不自由をもっていらっしゃる方にはとても迷惑な事実があることを知りました。北嶋さんとキャンディー、柴田さんお二人とも体のハンディを自分の個性と受け止めて、生きていられる強さはすごいなと思いました。多くの事柄を乗り越えて今の位置に立っておられること、学ぶべきことが多いと感じました。ありがとうございました。
- 少し素直になれたかな?とっています。
- 最初は、行くつもりはなかったが、講演を聞いて本当によかったです。ただ、濱宮さんから見れば、自分の存在がすごく小さいことに気づきました。というのは、自分は人から文句を言われればすぐ根にもつタイプなので、少しでもそれを直していきたいと思います。
- 中学生の子どもにも聞かせたかったが、用事があり残念でした。市内の中学校で、合間でもよいのでまた講演をしていただけたら良いが……と思いました。
- 障害者と障害を持って生まれてきた方との、障害という意識の違いを知りました。子どもと一緒に聞きたかったと少々後悔です。是非、また横手の子ども達のために、お話を聞かせてください。
- 人間として生きることの大切さをおそわりました。大変勉強になりました。
- 命の大切さ、人生を前向きに生きること、心の強さを感じました。あきらめない精神力、人生を大事に過ごしていること、すごいことです。生きる力強さがピンピンと伝わってきて、感動しました。メッセージも心にしました。ありがとうございました。
- このような企画を続けてほしい。
- 今日の講演、とてもいいお話でした。本部の方をはじめ、スタッフの皆さんの心遣い気遣いによって、講師の方も気持ちよく話をしていました。講師の方が講演中に皆さんスタッフへ感謝していた話をしたときは、少し涙ぐんでしまいました。本当にご苦労さまでした。
- いい時間、ありがとうございました。

体験発表



「盲導犬と私」
北嶋 和枝さん

横手市視覚障害者福祉協会会長。横手市でただ1頭の盲導犬ユーザー。



「車いす生活を
ふりかえって」
柴田 純一さん

秋田県車いす連合会副支部長・県南支部長。昭和49年交通事故に遭い脊椎を損傷、車いすを利用するようになる。

地域の声

「福祉アンケート」意見・要望より

- 福祉に携わっている人達には頭が下がります。孫の方を優先し、母親をデイサービスセンターにお願いしています。母は、人と話すことによって、生き生きしてきます。福祉サービスは有り難いと思っています。私も時間が出来たら活動したいと思います。
- 子育て支援にもう少し力を入れてほしいです。屋内で遊べる施設が少なく探すのも大変です。
- 福祉の充実は大変大事でなくてはならないことであると思いますが、基本は家庭、家族だと言う事を一人ひとりが認識なくてはいけないんじゃないかと思ひます。福祉を本当に必要な方へ優先させて、頼りすぎるのは良くないと色々のお話を聞いて思う時があります。でも、福祉の仕事に携わっておられる方々には、とても感謝いたしておりますし、ありがとうございますという気持ちをいつももっております。
- 困っている事ができた時にすぐに相談できる窓口をつくる事。弱い人程悩み一歩前へ進みたくても話ができない状態だと困る事でしょう。弱い立場の足もとを見る事のできる福祉を望みます。
- まだ祖父母が元気なので、利用したことはありませんが、近い将来お世話になることと思ひます。やはり、その状況に応じて、気軽に相談にのってもらったり、指導して頂けたら大変心強いです。身近な存在であってほしいと思ひます。

住民アンケートの結果をお知らせします。



横手市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画策定の基礎資料とするため、本年3月に「福祉アンケート調査」を実施し、対象者(5,000名)の8割以上の皆様からご回答いた

きました。厚くお礼申し上げます。現在、集計と分析作業を進めておりますが、皆様からたくさんのご意見やご要望をお寄せいただきましたので、その一部をご紹介します。皆様のご意見やご要望を基に平成20年度から5年間の計画を策定するため、今後、作業を進めて参りますが、計画策定の途中経過も含めてその内容等については、この「社協だより」で紹介していきたいと考えております。

理事・評議員異動のお知らせ

3月に行われた理事会・評議員会において、欠員となっておりました理事・評議員と、3月31日付で退任されます理事の補充が行われ、次の方々新たに4月1日付で選任されましたのでご紹介いたします。

【新任】

理事 照井 優子氏(横手地区) 理事 土屋 和夫氏(横手地区)
評議員 伊藤 堅治氏(横手地区) 評議員 永瀬 吉之氏(大雄地区)

【退任】

常務理事兼事務局長 池田 崇氏

池田崇氏は、旧横手市社協時代から永年にわたり同職を歴任し、合併後も社協の将来を見据えた経営手腕に力を発揮して頂きました。退任後も本会に対する変わらぬご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

お知らせコーナー

ホームヘルパー養成研修(2級課程)講習会受講生募集

- 【目的】 介護保険制度が定着し、介護サービス利用者のニーズも多様化する中、介護の担い手であるホームヘルパーの果たす役割は大きく、期待も高まっています。本研修は、介護に必要な知識と専門的技術を習得し、適切かつ迅速な対応ができるマンパワーの養成を目的に実施するものです。
- 【主催】 横手市社会福祉協議会
- 【対象者】 ①横手市内に居住し、かつ地域において介護職に従事することを希望する方
②全日程の受講が可能の方(必須)
③年齢は満45歳までとする(性別は問わない)
- 【定員】 30名(申込者多数の場合、選考とさせていただきます。)
- 【研修内容】 財団法人長寿社会開発センター発行テキストによる
- 【研修期間】 平成19年7月20日(金)～10月15日(月)までの27日間
※原則として毎週 月・水・金曜日 9時～16時
- 【会場】 十文字福祉センター集会施設 ふれあい館(十文字町梨木地区)
※講習内容により場所移動あり
- 【受講料】 実費分として10,000円(テキスト代・保険料他)
- 【修了証書】 全研修課程を修了した者に対し、修了証書を交付する。
- 【申込期間】 平成19年6月18日(月)～6月28日(木)
- 【申込先】 最寄りの地域福祉センター(旧市町村社協)まで
- 【問合せ先】 横手市社会福祉協議会 本部事業運営課 担当:石塚
横手市四日町3-23(2階) ☎36-5377



十文字地区の「心配ごと相談所」開設場所の変更と「無料法律相談所」の期日の変更について

- 変更前…十文字福祉センター(十文字町梨木字御休上29)
- 変更後…幸福会館(十文字町字海道下14-1)

開設曜日	開設時間	開設場所	連絡先
毎週金曜日	9時30分～正午	幸福会館	十文字福祉センター ☎42-5858

「無料法律相談所」の期日の変更

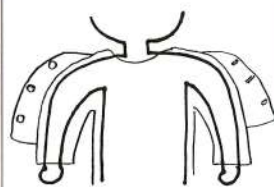
- 変更前…11月5日(月)
- 変更後…11月14日(水)

雄物川地区「心配ごと相談所」開設場所の変更について

- 変更前…雄物川福祉センター(雄物川町今宿字鳴田150)
- 変更後…雄物川コミュニティセンター(雄物川町沼館字高畑338)

開設曜日	開設時間	開設場所	連絡先
毎週月曜日	9時30分～正午	雄物川コミュニティセンター	雄物川福祉センター ☎56-2072

- ①肌着を上からかけ、袖だけを通して着るようにすると交換が楽にできます。

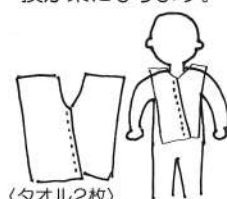


前開きの肌着の交換が楽にできます！
汗をかく季節は、どうしても肌着を交換する回数が増えますが、「寝たきりのために、1日に何回も交換するとなると…」と悩んでいる方も多いと思います。そんな時には、肌着を全部着せるのではなく、仰向けの状態で前開き肌着を前後にして、上から羽織るだけにすることで、介護負担が軽減されるようです。図の①、②の例をご紹介します。(但し、身体の下には、バスタオル等を敷いて下さい)

かいご通信 (新連載)

これから本格的な夏を迎えます。今回は、ご本人はもちろん、ご家族にも喜ばれる夏の暑さ対策「夏の介護ワンポイント」をご紹介します。

- ②タオルを2枚使って肌着がわりにすると、交換が楽になります。



(タオル2枚)
2枚のタオルを図のように縫い合わせます。(※首の部分は縫い合わせないようにします。)

居室の温度管理について

居室への直接日光を避けるために、窓の外に簾(すだれ)を設置すると、室内の温度を下げる事ができます。朝、夕の打ち水も効果的です。

また、エアコン・扇風機を使用する場合は、風を直接身体に当てないこと。※エアコンと扇風機を併用して使用すれば、空気を巡回させることになり、居室内の温度を一定に保つことができ経済的です。

やはり、夏場のリフレッシュは、「お風呂」だと思います。ご本人は、介護保険サービスを利用したり、ご家族は、ご家庭の浴槽で入浴剤を入れて楽しんだり、たまには温泉に行つて気分転換しましょう。

平成19年度 社会福祉法人 横手市社会福祉協議会 職員配置

平成19年4月1日現在

()は人員数 計365名
内 正 職 員 151名
臨 時 職 員 98名
パ ー ト 職 員 58名
登 録 職 員 58名

本 部 (15)	
事務局次長 兼 事務局次長 兼 地域福祉課長	佐 藤 誠 輝
総務課(5)	課長 柿 崎 正 美
地域福祉課(4)	課長 佐 藤 誠 輝
事業運営課(6)	課長 伊 藤 俊 光
横手市四日町3番23号 TEL 36-5377 FAX 36-5388	



困りごとや介護などに関するご相談は、社協本部または最寄りの福祉センターまでご連絡下さい。

この「横手市社協だより」は、共同募金の配分金の一部を活用して発行しています。

横手福祉センター(92) センター長 加 藤 恵美子 横手市四日町3番23号 TEL 33-8668 FAX 33-8778	地域福祉係(5) 在宅支援係(63) 康寿館(23) 横手市横手町字ノ口102号 TEL 32-8180
増田福祉センター(12) センター長 沓 澤 功 一 横手市増田町増田字土肥館173番地 TEL 45-4848 FAX 45-4848	地域福祉係(2) 在宅支援係(9)
平鹿福祉センター(32) センター長 和 泉 貞 昭 横手市平鹿町浅舞字蔭沼289番地 TEL 24-3283 FAX 24-3286	地域福祉係(3) 在宅支援係(28)
雄物川福祉センター(42) センター長 照 井 博 文 横手市雄物川町今宿字瑞田150番地 TEL 56-2072 FAX 56-2135	地域福祉係(2) 在宅支援係(24) 雄風荘(15) 横手市雄物川町今宿字末庭45番地2 TEL 22-3400
大森福祉センター(18) センター長 北 島 恒 一 横手市大森町字菅生田245-206 TEL 26-3274 FAX 26-4547	地域福祉係(3) 在宅支援係(14)
十文字福祉センター(41) センター長 久 米 力 横手市十文字町梨木字御休ノ上29番地 TEL 42-5858 FAX 42-4577	地域福祉係(3) 在宅支援係(37)
山内福祉センター(11) センター長 藤 原 由紀雄 横手市山内土淵字鶴ヶ池31-3 TEL 53-3009 FAX 53-3009	地域福祉係(2) 在宅支援係(8)
大雄福祉センター(28) センター長 小松田 進 横手市大雄町大関310番 TEL 52-3311 FAX 52-3444	地域福祉係(3) 在宅支援係(24)
平寿苑(74) 施設長 鈴 木 卓 横手市平鹿町浅舞字館廻353番地 TEL 38-7011 FAX 38-7012	管理係(7) 施設係(43) 在宅支援係(23)

善意 ありがとうございます

(平成19年4月30日受付分まで)

※広報発行回数が年4回となりますので、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

【横手福祉センター受付】

- ・健友館 横手整体院 様
- ・平鹿ダンススポーツサークル 舞ドリーム 様
- ・和 賀 健 悦 様 (大屋新町法竜)
- ・泉 利 夫 様 (南町)
- ・木 村 勉 様 (本町)
- ・山 中 ゆ き 様 (田中町)
- ・高 橋 淳 様 (杉沢吉沢)
- ・立正佼成会 横手法輪クラブ 様
- ・桂 川 正 樹 様 (金沢本町根小屋)
- ・野 上 ユ キ 様 (幸町)
- ・吉 田 茂 彌 様 (赤坂後野)
- ・中 山 千 恵 様 (神明町)
- ・秋田県南消費生活協同組合 様

【増田福祉センター受付】

- ・油 谷 剛 様 (本町)
- ・沼 沢 武 雄 様 (半助村)
- ・高 橋 強 吉 様 (一本柳)

【平鹿福祉センター受付】

- ・醍醐婦人会 様
- ・小 林 政 雄 様 (新町)
- ・真 田 利 征 様 (蛭野)
- ・社団法人馬鞍愛郷社 様

【雄物川福祉センター受付】

- ・雄物川町舞踊愛好会 様
- ・雄物川町ダンス愛好会 様

【十文字福祉センター受付】

- ・黒 澤 英 一 様 (二ツ橋)
- ・伊 藤 剛 様 (荊島)

【山内福祉センター受付】

- ・石 沢 定 男 様 (三又)
- ・石 沢 清 一 様 (三又)
- ・高 橋 みほ子 様 (南郷)

【大雄福祉センター受付】

- ・阿 気 小 学 校 様
- ・壽松木 道 作 様 (上田村)
- ・照 井 幸 成 様 (根田谷地)
- ・後 藤 豊 彦 様 (新町)
- ・小松田 博 之 様 (四津屋)
- ・戸 巻 亀之助 様 (野崎)